

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>
21・8・2(月)
南NEWS no 46

優しい家庭では 優しい子が育ちます！！

その逆は？！

28歳で教員になって74歳まで教育の現場にいて、南を創って45年。実感することは優しい家庭では優しい子が育つということです。

南のOB・OGにもたくさん優しい子、優しい人がいます。その先輩達のおうちの人たちと共に創ってきたのが優しく強い子の育成を目指した南の歴史です。

逆の話です。GAMBAっている人たちをけなすだけ、思いやりも感謝の気持ちを示せない親に育てられた子が、中学校では荒れに荒れて暴走し、長じては塀の中に入れられてしまったという大変痛ましい話もあるのです。

『モチモチの木』の豆太のじいさまが言っています。

「おまえは、山の神様のまつりを見たんだ。モチモチの木には、灯がついたんだ。おまえはひとりで夜道を医者様よびにいけるほど勇気のあるこどもだったんだからな。自分で自分をよわむしだなんて思うな。にんげん、やさしささえあれば、やらなきやならねえことは、キッとやるもんだ。それを見て他人がびっくらするわけよ。ハハハ」

南の目標は『優しく強い子を育てるお手伝い』です。子どもたちを中心に、優しく強いコーチのみなさんのGAMBAりと支えてくださる優しく強いおうちのみなさん・尾川さん・山田会長さんをはじめとする地域のみなさんのご尽力で成り立っているクラブです。



いろいろな声のごく一部から聞こえてきます。75歳の爺様ですが、我慢できずに怒鳴りつけてやりたくなる衝動に駆られるときもあります。ぐっところえて……。

南の目標を理解できず、仲間達の願いや努力を侮辱することは絶対許しません。子どもさんが可哀想ですが、南の仲間の輪から退場してもらいます。

○南の練習時間は2時間が原則

①ヨーロッパのプロチームでも集中して練習出来るのは2時間が限界だそうです。だから試合も前後半で1時間30分です。

②だらだらと長時間練習しても成果は挙がりません。短い時間で集中して練習するから力もつくのです。コーチのみなさんには

「場をたくさん創って、待つ時間・順番を待つ子が少ない練習を」とお願いしています。南の1年生も2時間でしっかり育っています。

③短い時間で成果を挙げて、あとの時間はおうちに帰って、一人で過ごす時間を確保してほしいのです。昔のように遊べる原っぱ・池や川はありませんが、自然の中での虫取り・魚とりで夢中になる時間もほしいですね。一人で何かすることは考え・工夫する力を培ってくれます。そして、友達との遊び、学習や読書、お手伝いなどと時間を有意義に使ってほしいのです。

○Cクラスの休み時間の読み聞かせ

①どの子ども本が好きになってほしいのです。そのお手伝いをしたいのです。

②本が好きな子は、本の中でいろいろな人の考え方・生き方に触れることにより学んでいます。優しい子に育ちます。理知的な子が育ちます。読書の癖がない子は中学や高校の分厚い教科書が読みこなせません。

③清水コーチ・龍平コーチの了解を取って、子どもたちの練習をしたいという気持ちを大切にしながら読み聞かせの時間を取っています。

南の9期生のKM君が由井三小の6年生の時、一年だけですが矢上が担任でした。いつも読みかけの本を持っている子でした。図書時間も集中して本を読んでいる子でした。

毎日の自宅学習にも取り組み、GAMBAノートにその日の授業の復讐をして、日記や詩を書いて、毎朝、私の机の上に提出していました。

サッカーもCHのポジションでゲームを創り、中心選手としてGAMBAり、いくつもの招待大会や拓大杯の優勝に貢献していたのです。

拓大杯の準決勝で白百合、決勝で桑の実、どちらもKM君のロングシュートで快勝したことを思い出します。拓大の陸上競技場内のピッチ。KM君のシュートの軌跡が今でも目に浮かびます。

由井中・日野台高校・早稲田大学と進学したKM君。塾は合わない塾に行かずに自宅学習を毎日GAMBAって目的を遂げたのです。今は大手企業の重役さんです。

「恩師は矢上先生」

と言ってくれたKM君は、大妻女子大出の才媛と結婚式をお台場の全日空ホテルで挙げたのです。私はお祝いのスピーチをさせていただきました。

KM君のお父さんは、熊本工業のラグビー部出身で国体にも出場した方です。明るく優しい方で、南のコーチもしてくださり、いつもニコニコと子どもに接して、良いプレーに大げさで驚き、褒めてくださるコーチでした。

似たもの夫婦で奥様も同じでした。明るく優しいお母さんでした。何度も自宅で手料理をご馳走になり、子どもたちの話で盛り上がりました。

教室やグラウンドでいつもニコニコしていたKM君の笑顔はご両親譲りだったのです。

親の優しさが子の優しさを育てます。

矢上は担任時代、
「どの子どもも楽しく分かる授業を創りたい！
どの子どもも楽しいと思える学級を創りたい！」
を目標・願いとして実践していました。学級通信の題は『どの子ども』でした。

南でも同じです。

南はどの子どももサッカーが上手くなって、どの子どもも試合に出て、楽しく試合に勝つことを大切にしています。



